機械翻訳などによる仮訳

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019 年 12 月 20 日付

京畿道漣川郡民統線内野生いのしし弊死体から ASF ウイルス検出（野生いのしし 48 例目）

http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmElMkY2OCUyRjMyMjMwMyUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmdzRW5kZGVTdHIlM0QlMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXElM0QlMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQlM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNg%3D%3D

□環境部所属国立環境科学院（院長：チャン・ユンソク）は、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョングン）新西面（シンソミョン）民間制限線内で発見された野生いのしし弊死体から ASF ウイルスが検出されたと 12 月 20 日明らかにした。

○弊死体は 12 月 18 日、南方限界線付近の山で、官軍合同捜索中発見された。漣川郡（ヨンチョングン）は野生いのしし ASF 標準行動指針により、現場を消毒して死体を処理した。

○国立環境科学院は 12 月 19 日、弊死体から ASF ウイルスが検出されたことを関係機関に通知した。漣川（ヨンチョン）で 15 件の野生いのしし ASF 確定診断となり、全国的には 48 件になった。

□環境部 ASF 総合状況室総括チーム長は“弊死体発見地点は南方限界線から南に約 1km 離れた地点だ”として、“拡張中である 2 次フェンス内の地点で感染地域管理のために迅速にフェンス拡張を完了させ、周辺の弊死体捜索を強化する”と話した。

以上